

人口減少に関する意見の反映状況一覧表(最終版)

資料1

区分	No.	項目	意見	理由	検討結果(村の考え方)	反映状況	反映内容		
							原稿	反映前	反映後
パブリックコメント	1	人口ビジョン(案)及び概要版(案)	人口ビジョン(案)のⅡ 普代村の人口の現状のグラフについて、西暦標記のほか和暦標記をすべき。	村民が理解しやすい。	人口ビジョン(案)のグラフに和暦標記を加えています。また、説明文章も西暦(和暦)に全て統一しています。	反映済	P3~P30	西暦	西暦(和暦)
パブリックコメント	2	人口ビジョン(案)及び概要版(案)	人口ビジョン(案)のⅤ「人口の展望が実現した場合の普代村の姿」における、「2進化する産業と新しい人の流れの創出の実現」部分のタイトル標記がわかりづらい。	村民が理解(想像)しにくい。	「2時代に合った産業の創造と新しい人の流れの創出の実現」に見直しています。	反映済	P29	2進化する産業と新しい人の流れの創出の実現	2時代に合った産業の創造と新しい人の流れの創出の実現
議会報告	3	総合戦略(案)及び研究会アクションプラン(案)	戦略事業8の原木しいたけ植菌支援事業の重要業績評価指標(KPI)にしいたけ生産量を設定していますが、生産量を拡大するためには、生産者及び生産規模の拡大などが必要となります。今後、生産者の高齢化に伴う生産規模の縮小や廃業などにより、生産量は減少していくものと予想されますので、これまでの支援事業の他、生産体制を見直し、再構築するための事業の創設を提案します。	生産者の高齢化、後継者不足など一次産業の衰退が大きな課題となっています。生産者の労働環境の改善と所得向上に対する早急な対応が必要です。 しいたけ生産体制を山から里に向け、遊休農地などを利用する施設栽培に移行することにより、労働力の軽減が図られ、また、高品質な椎茸の安定供給が可能となり、経営の持続安定が期待できます。さらに、他事業の閑散期に兼業する複合経営を推進することにより、一次産業全体の所得向上が図られるものと考えますので、継続事業に加え、生産体制強化並びに新規参入者支援等の創設について、総合戦略又はアクションプランに盛り込んでいただきたい。	基本目標1「地域における安定した雇用を創出する」の施策3「つくり育てる産業の推進」では、第一次産業従事者が製造品拡大にチャレンジできる環境整備に向けた支援制度の拡充や創設により、つくり育てる魅力ある環境を整備し産業の推進を図ることを施策として掲げています。 また、P63研究会アクションプラン(案)の「つくり育てる産業推進事業」をより具体化した内容とするため、現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)に盛り込みます。	反映済	P25、P26	基本目標1 施策3 つくり育てる産業の推進	基本目標1 施策3 つくり育てる産業の推進
推進会議	4	総合戦略(案)	高齢者自身によるコミュニティをつくり、自立をめざし協力し合う、また、高齢者のボランティアグループをつくり社会に役立つ存在となる。	例えば、皆で昼食をつくり食事を楽しむ。特に一人暮らしになると食事がいいかげんになったり、人との会話がなくなり、介護される側になりやすい。一人では自立できないことも協力し合えば可能性がでる。 身体が動くうちは働きたい、人の役に立ちたいという人も多いと思う。(シルバー人材センターに登録するほどではない。)例えば、老人ホームで食事のテーブルの用意や後かたづけ、会話の相手になる、洗濯物をたたむ、簡単な清掃などやれることはあると思う。	基本目標3「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の施策2「総合的な活動施設等の整備促進」では、高齢者が生きがいが、暮らしに安心を感じ、元気に生活・活躍する機会を創出し続けるための環境整備並びにその活用を促進していくことを施策として掲げています。 また、本施策の基本目標である「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の重要業績評価指標(KPI)については5年後の要介護認定者数を減少させることを目標指標と設定しています。	反映済	P30、P31	基本目標3 施策2 総合的な活動施設等の整備促進	基本目標3 施策2 総合的な活動施設等の整備促進
推進会議	5	総合戦略(案)	「ネットワーク環境の整備と利用促進」を産業振興と連動させるべき。実際は地の利のハンディキャップを克服できる分野としてIT産業の誘致を促進するため、全村をカバーするネットワークを活用したくろさき荘を改修し、IT企業の誘致を進めたらどうか。くろさき荘をIT事業×農漁業・水産加工等、観光振興等の拠点とすることを提案したい。	全村におけるネットワーク環境の整備が施策として実施されており、基礎的条件は整っている。一方、産業振興のために六次産業化・ブランド化は不可欠であるが、どのような付加価値をつけて地の利のハンディキャップを克服することが可能な方法としてIT産業を導入することは大きな効果が期待できる。さらに、くろさき荘別館の有効活用が求められていることを考えれば、ここにIT産業に従事する企業を集中化させて、新しい産業振興の拠点とすることが妥当である。	基本目標3「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の施策3「ネットワーク環境の整備と利用促進」では、普代村地域情報通信基盤の利活用促進と通信事業者に対する光回線エリアの拡充の要請活動を積極的に展開すること、さらには、既存施設を活用した新たな企業誘致など多種多様な分野におけるインターネット活用の促進を図ることを施策として掲げています。	反映済	P31	基本目標3 施策3 ネットワーク環境の整備と利用促進	基本目標3 施策3 ネットワーク環境の整備と利用促進

人口減少に関する意見の反映状況一覧表(最終版)

資料1

区分	No.	項目	意見	理由	検討結果(村の考え方)	反映状況	反映内容		
							原稿	反映前	反映後
内閣府	6	総合戦略(案)	基本目標は、当該政策分野の各施策を総合して実現される大目標であり、原則として、アウトカムベースの基本目標を設定していただきたく存じます。ご検討願います。(2020年までの5年間で地域間連携市町村数を18市町村)	-	基本目標3「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」における重要業績評価指標を「地域活動団体(NPO等)設立数1団体」、「要介護認定者数を概ね40人程度まで減少」として設定しています。	反映済	P29	重要業績評価指標：新規地域活動拠点の形成数、地域間連携事業の市町村数	重要業績評価指標：地域活動団体(NPO等)設立数、要介護認定者数
内閣府	7	総合戦略(案)	基本目標4(転入者との目標あり)に近い施策のように思われますところ、基本目標3に整理されている理由をご教示願います。	-	基本目標3「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に掲げる施策1「地域への移住者受入体制の推進」については、基本目標4「地域への新しい人の流れをつくる」の施策1に新たに設定しています。	反映済	P33	基本目標3施策1「地域への移住者受入体制の推進」	基本目標4施策1「地域への移住者受入体制の推進」
内閣府	8	総合戦略(案)	基本目標における新規地域活動拠点の形成数との関係(違い)をご教示願います。	-	基本目標3と施策3の重要業績評価指標内容が同一(目標数値は相違)となっておりますので、上記6のとおり基本目標の重要業績評価指標を新たに設定いたしました。	反映済	P29、P30	基本目標3と施策3の指標が同一	基本目標3の指標を変更
パブリックコメント	9	総合戦略(案)及び概要版(案)	基本目標と具体的な施策が抽象的すぎるのでは。	具体的にどういった事業展開を進めるのかが理解しづらい。	基本目標と具体的な施策(方向性)については、本総合戦略(案)の基本目標と具体的な施策(方向性)を決定するための経過として、資料編に、普代村人口減少対策プロジェクトチーム提言書、普代村研究会の活動内容、研究会におけるアクションプラン(案)を掲載しています。具体的な事業化に向けて、現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)を策定します。	反映済	P36～	第2編資料編	第2編資料編
パブリックコメント	10	総合戦略(案)及び概要版(案)	漁業の担い手確保、さらには、今後、廃業する高齢漁業者の漁具などの利活用に関する施策の推進を提案したい。	漁業者の高齢化も進展し、村の基幹産業となる漁業の担い手不足が深刻化する。また、高齢者漁業者の今後の廃業は必然的で、船舶や漁業倉庫などを含めた漁具を新たな担い手に継承が可能となれば、無駄のない好循環な産業継承の仕組みが構築される。	基本目標1「地域における安定した雇用を創出する」の施策4「労働人口の確保」では、第一次産業従事者の担い手確保に結び付ける支援制度の拡充と新たな支援策の創設、また、施策5「専門知識を育む環境づくりの推進」では、担い手確保に向けた指導・育成やプログラム構築のための新たな支援制度の創設による将来に向けた技術力の継承などの施策を掲げています。また、研究会アクションプラン(案)においても、普代村新規漁業者支援協議会補助金事業や産業担い手育成バンク登録事業、漁業後継者育成プロジェクトを掲げ、具体的な事業化に向けて、現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)に盛り込みます。	反映済	P26	施策4労働人口の確保、施策5専門的知識を育む環境づくりの推進	施策4労働人口の確保、施策5専門的知識を育む環境づくりの推進

人口減少に関する意見の反映状況一覧表(最終版)

資料1

区分	No.	項目	意見	理由	検討結果(村の考え方)	反映状況	反映内容		
							原稿	反映前	反映後
パブリックコメント	11	総合戦略(案)及び概要版(案)	長野県で「まつたけ」の人口栽培に成功した事例がある。まつたけは限られた自然環境でしか生育しない。村の自然環境は非常に恵まれており、これら恵まれた環境を活かすための環境づくり教育の推進を提案したい。	全国でもこのように「まつたけ」の生育する良好な環境は限られている。村の掘り起こされない宝(資源)は、未知数である。	基本目標1「地域における安定した雇用を創出する」の施策5「専門知識を育む環境づくりの推進」では、幼少期からのキャリア教育の充実や関係団体等と連携した先進地視察研修の実施など、将来に向けた技術力の継承に結び付く環境づくりの推進の施策を掲げています。 現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)に、本趣旨にあった具体的な取り組みについて盛り込みます。	反映済	P26	施策5専門的知識を育む環境づくりの推進	施策5専門的知識を育む環境づくりの推進
パブリックコメント	12	総合戦略(案)及び概要版(案)	キャリア教育に、新たに正しく普代の郷土を学ぶための「ふるさと教育」の推進を提案したい。	幼少期に正しく普代の郷土を学ぶことにより、将来、地元を離れてもまた戻ってきて地元で働きたい感じさせる取り組みが必要。	基本目標1「地域における安定した雇用を創出する」の施策5「専門知識を育む環境づくりの推進」では、幼少期からのキャリア教育の充実など将来に向けた技術力の継承や担い手育成に結び付く環境づくりの推進の施策を掲げています。 現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)に、本趣旨にあった具体的な取り組みについて盛り込みます。	反映済	P26	施策5専門的知識を育む環境づくりの推進	施策5専門的知識を育む環境づくりの推進
パブリックコメント	13	総合戦略(案)及び概要版(案)	基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」において、結婚対策については、普代独自の結婚に結び付く機会の創出を提案したい。	村民の気質などから、結婚イベントにはなかなか足が向かない。独身者の本音を聞き入れ、地域特性を活かした地区単位で村外の方を招き入れる機会の創出が必要。	基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の施策1「結婚しやすい環境づくりの推進」では、村の魅力ある地域資源や観光資源を活用した様々な交流機会の創出を図り結婚しやすい環境づくりの推進の施策を掲げています。 また、研究会アクションプラン(案)においても、交流機会の創出事業を掲げ、具体的な事業化に向けて、現在、作業を進めている普代村アクションプラン(案)に盛り込みます。	反映済	P28	施策1結婚しやすい環境づくりの推進	施策1結婚しやすい環境づくりの推進